



人が健康被害を起こす原因の50%が住環境の問題と言われている中、多くの人に住宅業界が行っているSDGsの取り組みを知ってもらうことの重要性を感じたことが取材のきっかけです。ナゴヤハウジングセンターは一般社団法人が運営する総合住宅展示場。安全・安心な住まいづくりのパートナーとしてさまざまな情報を発信しているほか、住み続けられる街づくりの一環として、住宅展示場の永続的な運営管理と発展に努め

ています。また、出展メーカーのアクセラホームは子どもたちに木の大切さを伝える「希望の未来プロジェクト」、一条工務店はシックハウス対策など長く住み続けられる家造り、住友林業は超高層木造ビルの建築実現に向けた技術課題の解決、積水ハウスは世界初となる在宅時急性疾患早期対応ネットワークの構築など独自の取り組みを行っており、SDGs活動の幅がさらに広がることを願っています。

愛知淑徳大学チーム 有働円香さん 今井里緒さん 坂野未奈さん 林万結香さん 松野司さん



2021年9月28日（火）中日新聞 朝刊 6面
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。